

平成 24 年度 第 8 回 (11 月) 理事会議事録

日 時： 平成 24 年 11 月 8 日 (木) 午後 7 時 00 分 ~ 8 時 00 分

会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所

出席者： 運天、竹浦、吉本、荒木、田畑、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、
増田、久保田、栗本監事、事務 (岩崎)

欠席者： 高田、清水、後藤、山中監事

議 長： 運天

【 討議内容 】

. 行動報告 (10 月分)

別紙参照

. 経過報告

1. 日臨技・近臨技

- ・ 認定検査技師制度認定試験実施状況および予定
10 月 8 日 一般検査技師認定試験 日本青年館で実施済み 受験者 99 名
11 月 11 日 心電検査技師認定試験 日本教育会館で実施予定 受付 188 名
11 月 11 日 染色体遺伝子検査認定試験 日臨技会館で実施予定 受付 9 名
- ・ 8 月時点の日臨技会員数は 50,579 名
- ・ 会紙「医学検査」の印刷業者入札を行い選定の結果、(株)東広社に決定した。
- ・ 平成 25 年 1 月 1 日から施行される復興所得税について課税率の変更を周知する事とした。

2. 事務局

総務部 10 月 17 日 (水) に部会を開催した。

- ・ 平成 25 年度からの会費納入方法変更に伴う対応について検討した。
- ・ 大臨技ホームページのレイアウトについて検討した。
- ・ 平成 25 年度大臨技会員証の作成について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 10 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

会計部 10 月 17 日 (水) に部会を開催した。

- ・ 9 月度収支決算書を作成した。
- ・ 事務員 10 月分給与を送金した。

渉外部 10 月 16 日 (火) に部会を開催した。

- ・ がん検診推進フォーラム (日臨技公益委託事業) について報告した。
参加者 30 名 (内 府民 6 名)
- ・ 府民健康フォーラム (10 月 28 日開催) の進捗状況について説明を行った。
- ・ 大臨技・大放技合同フォーラムの進捗状況について説明を行った。
- ・ 日臨技公益委託事業案 (HIV 対策) について説明を行った。

3. 事業局

情報組織部 10月18日(木)に部会を開催した。

- ・ 技師長会について内容の検討をし、テーマを「卒前教育・卒後教育」に決定した。

地区事業部 10月18日(木)に部会を開催した。

- ・ 会員交流会(10月6日(土)、堺とれとれ市)について反省会を行った。

参加者：正会員24名、正会員以外11名

- ・ 施設連絡者会について検討した。

開催日：平成25年3月16日(土) 場所：大阪産業創造館6階会議室(114名収容可)

企画担当：後藤理事

学術部 10月9日

- ・ 第8回学術部講演会の各講演者による発表があり、最終打合せを行った。

参加者：85名

- ・ 大阪府主催の近畿支部研修会の事務的対応について説明した。

他、報告

1. 都道府県技師会で実施している精度管理調査について(竹浦副会長)

日臨技から平成24年度精度管理調査委員会立ち上げに伴い、各都道府県で実施している精度管理調査について、調査依頼があったので対応する。

2. 「医学検査」投稿論文募集について(運天会長)

「医学検査」第62巻1号における「各都道府県技師会推薦論文特集」企画のため、日臨技から各都道府県技師会誌掲載した中から優秀論文を推薦してほしい旨の依頼があったが、現在、当会会誌で論文掲載の企画が無いため、推薦不可とした。

3. 医行為分類(案)に関する意見の提出について(運天会長)

日臨技より渉法問題対策委員会にて会員からの意見をまとめ、「医行為分類(案)に関する意見」を10月5日に厚生労働省に提出したとの報告があった。

「医行為分類(案)に関する意見」の主内容は、「チーム医療」を推進するための基本の一つとして、各医療スタッフの専門性の向上、各医療スタッフ間の連携・補完の推進が重要であると考えられるため、臨床検査技師が関わる行為において、敢えて「看護師の実施可能な行為の拡大」の範疇に入れることは、チーム医療推進の主旨から逸脱するものであるとの意見である。

4. 医療安全推進週間の広報について(運天会長)

厚生労働省より医療安全推進週間(毎年度11月15日を含む1週間)についての広報依頼が日臨技を通じてあった。これを受け、大臨技ホームページにおいて当件の広報をした。

5. 平成24年度日臨技全国医療安全管理者研修会について(運天会長)

上記「医療安全推進週間」に合わせ11月10日に、日臨技事業として「全国医療安全管理者研修会」が開催されるため、大臨技ホームページで広報した。

6. 復興特別所得税適用に伴う講師料等の課税率変更について(荒木常務理事)

平成25年1月1日より復興特別所得税が適用されることに伴い講師料等の課税率が10.21%に変更されることとなった。講師料領収書記載金額は、講師料÷0.8979で計算する。

7. 感謝状表彰について(吉本副会長)

平成24年度感謝状表彰候補者の推薦について、推薦状を12月12日までに吉本副会長宛にメールで送信することとした。

候補者の推薦があった場合、平成 24 年度第 10 回（1 月）理事会修了後、表彰委員会を開催し審査することとした。

8 その他

1) 平成 25 年度憲法記念日知事表彰候補者の推薦について

大阪府健康医療部より平成 24 年 12 月 14 日期限で標記候補者の推薦依頼があり、当会より選考基準を満たしている役員を候補者として推薦することとした。

2) 平成 24 年度「日臨技精度保証施設認証制度」の申請等について

標記について、都道府県申請受付期間が平成 24 年 11 月 1 日（木）～11 月 10 日（土）必着であり、現在、大阪府下の 8 施設より申請がある。これを受け、11 月 16 日（金）15 時から精度認証委員会を開催し日臨技申請（受付期間：平成 24 年 12 月 11 日（火）～12 月 21 日（金）必着）に向け審査する。

また、データ標準化については、10 月 28 日にサーベイ用サンプルを作成し配布を行い、現在、施設からの測定データの解析・集計中である。集計データについて、11 月 16 日（金）19 時からデータ標準化 P チーム会議を開催し検討する。

3) ヘモグロビン A1c 検査結果の通知について

厚生労働省より、平成 25 年度以降に実施される特定健康診査等において、ヘモグロビン A1c 検査結果の受診者への結果通知は、NGSP 値で行う旨の通知があった。

4) 大阪市こども医療費助成制度について

平成 24 年 11 月診療分から、大阪市在住の 15 歳（中学校修了まで）まで通院医療費個人負担が、1 医療機関ごと 1 日当たり最大 500 円（月 2 日限度）となる。

・議 題

1. 平成 25 年度からの会費納入方法の変更について（吉本副会長）

平成 25 年度から大臨技の会費の納入方法について、日臨技および大臨技に入会している会員は、別納方式から日臨技に登録の振替口座から合算して引き落としすることとした。また、大臨技のみに入会している会員は、郵便局に備え付けの「払込取扱票」（白地に青枠の用紙）に必要事項を記入し、振込手数料を自己負担し、大臨技年会費を振り込んでもらうこととした。

これに伴い、以下留意点を、大臨技ニュース 12 月号、お知らせ文書および大臨技ホームページ等で会員に広報することとした。

1) 日臨技および大臨技に入会している会員へ

予め振替口座の残高確認をお願いする。

会費振替口座未登録者については、平成 25 年 1 月 10 日（木）までに、日臨技を通じて会費振替口座の登録をお願いする。

平成 24 年度退会希望者は、平成 25 年 1 月 10 日（木）までに、退会処理をお願いする。

2) 大臨技のみに入会している会員へ

「払込取扱票」の記入方法等をお知らせする。

「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」の案内をする。

2. 日臨技関西支部医学検査学会準備委員会の立ち上げについて（竹浦副会長）

平成 27 年に大臨技担当で開催される日臨技関西支部医学検査学会の準備委員会を立ち上げることにした。

3. 日臨技定款変更後の大臨技定款変更について（運天会長）

現日臨技定款における会員の定義について、「日臨技の会員は、都道府県技師会の会員であること」と変更された場合、大臨技定款においても同等の文言を追加することとした。

4. 大臨技研修会等における参加費・資料代について

他職種公開講座の資料代について、他職種の参加者等から無料にすべきであるとの意見があったため、次回理事会で検討することとした。

理事会議事録確認（署名）
